

報道された広大

【創世期の現場】マルチメディア社会／授業に活
気―広島大学付属福山中学校・高校（毎日、1・28）

二月

「オペラ」ドン・ジョヴァンニ」を見て―河原俊雄
広島大学文学部助教（中国、2・24）

タイ通商代表事務所広島所長に広島大学出身者―
スワントウビンタン氏（日経、2・27）

大久野島毒ガス資料館館長に山木戸大教授
（中国、2・29）

三月

被爆建物13件市、記録保存へ―広島大本部跡地
（読売、3・2）

広島大本部跡 解体始まる―広島市が2年かけ緑
化フェア会場に（中国、3・2）

広島大付属高の誘致に積極姿勢―広島市会代表
質問で市長（中国、3・5）

昨年の第一弾に引き続き：ぐるりマップ2を発
行、コンビニなど新情報―東広島市の交流会議（中
国、3・5）

県、トンネル40か所を再点検へ―広島大学工学部
日下部治教授（朝日、3・6）

イトーヨーカ堂グループが入社式―新入社員代表
の広島大の宮田和美さん（毎日、3・6）

退官控え記念講演―広大医学系5教授 チェルノ
被害など（中国、3・8）

東広島キャンパス 1年生は駐車禁止、移転でマ
イカー通学増（読売、3・9）

喜びの春!!胸上げも―広島大など合格発表（朝日、
読売、3・9 中国、3・8）

広島原爆医学研に31年間―佐藤教授 今月で退官
（読売、3・9）

福祉カルタ 手作り―広島大付属中・高 思いやり
織り込む 広島（中国、3・10）

もみじⅡ大学に水辺公園（中国、3・10）

広島ヨット部3隻が転覆―宇品沖 学生は救助
（中国、読売、3・12）

広大生諸君 畜産の心を―牛の人工授精・乳搾り・
ヨーグルト加工：体験学習募る、「環境」考える
場（中国、3・15）

新聞社の憲法論議問う 広島大（読売、3・15）

広島大で後期入試一七〇一人受験（朝日、3・15）

「環境」の題目目立つ 広大小論文（中国、3・15）

愛娘奪った薬害追放を―広島大助手の天野さん 母
の一念 私人講師に転身、「情報公開促したい」 1
日12時間勉強する（中国、3・16）

ゆうかん特報―広大生さん酔わせず―ユニーク
居酒屋、酒部西条に登場 キャンパス周辺 評判も
上々（中国、3・18）

松枯れ防止へ活力剤散布―中根周歩大教授とメー
カー共同、生育効果を屋外実験（中国、3・19）

「納地区まちづくりマスタープラン」学術調査
ぜひ必要―広島大文学部助手 長谷川博史氏（朝
日、3・19）

でるたⅡ五十年の時流れて―植木研介 広島大学
文学部助教（中国、3・19）

「放射光」実験 利用促す講演、広大が22日広島
で（中国、3・20）

広島大東千田キャンパス―体育館解体、ラウン
ド縮小、夜間運動部受難 練習場失い休部、代替
地探し進まず「勧誘滞り廃部心配」（中国、3・21）

広大フォーラム第27期8号

編集発行 広島大学広報委員会
（庶務部企画調査課）
住 所 広島市中区東千田町1丁目1番89号
電 話 (082)241-1221 内線3539
F A X (082)242-1561
E-mail koho@ue.ipc.hiroshima-u.ac.jp
印 刷 (株)ニシキプリント
広報委員 越智 貢（委員長・文学部）
早川 式彦（副委員長
原爆放射能医学研究所）
安藤 正昭（副委員長
総合科学部）
森 敏昭（教育学部）
若元 澄男（学校教育学部）
森 邊 成一（法学部）
藤原 賢哉（経済学部）
竹野 節夫（理学部）
村上 恒二（医学部）
新谷 英章（歯学部）
松尾 彰（工学部）
山本 禎紀（生物生産学部）
成 定 薫（大学院国際協力研究科）
吉田 二美恵（附属図書館）
難波 紘二（総合科学部）
中田 高（文学部）
西村 浩二（総合情報処理センター）

編集後記

◆新入生の皆さん、ご入学おめでとう。
今号は皆さんの特集号だ。これから何
年か私たちと勉学をともにし、この
「フォーラム」を支えてくれる皆さん
に、心からお祝いの気持ちを申し述べ
たい。

◆一年間「フォーラム」を愛読してい
ただいた読者には、お別れを言わなけ
ればならない。この編集後記をもつて
第二十七期広報委員会の仕事が完了する。
◆長くも短くも感じられる一年だった。
いい経験をさせていただいた。若い頃
夢見ていたジャーナリストの真似事も
味わえた。オブザーバーとして部局長
連絡会議や評議会などにも参加した。
組織を内側から眺めることの意味がわ
かったし、また熱心な学生との深夜に
及ぶ議論を通して、組織運営の難しさ
もチョッピリ理解できた。

四月からはやや静かな生活に戻る。

◆最後に、委員長としてのわがまを
かなえさせていたきたい。一年間
「フォーラム」の編集に携わった「仲
間たち」の記念写真を掲載した。ここ
には、広報委員や企画調査の関係部員
が写っている。撮影したのは、やはり
仲間としてカメラマンをつとめてくれ
た経済学部三年の滝本君だ。この写真
は、私たちの卒業写真だと言っている。
◆これまでずっと編集後記の最後に
「次号までしばしサヨナラ」と書き続
けた。だが、その役目もようやく終わ
る。第二十七期委員会を代表して、読
者の皆さんに深く深くお礼を申し上げ
たい。そして、新たな次期「フォーラ
ム」にも変わらぬご支援をお願いしたい。
（第27期広報委員会委員長 越智 貢）

